

あきのえのころぐさ

Setaria autumnalis Ohwi

各地に多い1年生草本で、近年都会附近ではエノコログサよりよく繁殖している。茎を叢生して高さ50-70cmに達し、葉は互生し、葉身の基部で捻れて上面を下にして展開し、上面はやや粉白、下面は光沢があり、線状披針形で先端は長く鋭尖し、基部は狭窄して鈍脚を呈し、エノコログサの如く、円脚を呈しない。葉基は鞘となつて長く茎を包み、縁に毛がある。9-10月頃茎頂から長梗を出して、円柱状円錐花序をつける。花序は瘦長な円柱状で、成熟すれば彎曲して半ば垂下するが、エノコログサでは略々直立する。小穂は卵形鈍頭で、長さ3mm許、エノコログサより大形、基部に刺毛多く、内穎は広卵形、小穂の長さの3分の2あり、外稃の先端部を露出する。

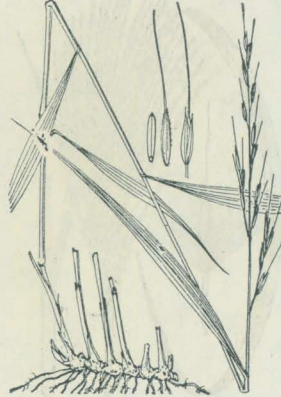


第 3840 図

ひろはのはねがや

Orthoraphium coreanum Ohwi
var. *Kengii* Ohwi (= *Stipa sibirica*
Lam. var. *japonica* Hack.)

諸国の山中林地に生ずる多年生草本で、短く匍う地下茎から1-2の稈を生じ、高さ60-100cm許ある。葉は狭長披針形、長さ20-40cm、幅7-13mm、葉鞘の上部及び縁に短毛がある。夏、直立、線形の円錐花序を稈頂に生じ、長さ10-20cm、少数の小穂を疎に生ずる。小穂は双生し、長短があり、主軸に圧着し、小穂は披針形で長さ10-13cm、緑色を呈し、1花を有し、花下に関節がある。内外穎は披針形、長く鋭頭、平滑無毛で背面は円く、互に抱き合い、3脈があり、外稃は12mm、革質、平圧短毛多く、基部に長い白毛があり、黄緑色で先端に芒を直生する。



第 3841 図

ひめこぬかぐさ

Agrostis nipponensis Honda

本州の関東以西、四国、九州の林下の陰所或は稍湿った地に産する多年生草本。稈は稍々多数叢生して高さ40-70cm、全体軟弱である。葉も亦軟質で、無毛、淡緑色、線形長さ7-15cm、初夏円錐花序を稈頂に生じ、その高さ10-15cm許、概形は披針形又は卵形を呈し、花序の側枝は縹波、5-7個輪生し、初め平圧するが後開出し、中央部より以上に小穂を稍々疎に生ずる。小穂は長さ3-5mm許、小穂は2.5-3mm、淡緑色時に少しく紅紫色を帯び、内に1花を有し、花下に関節あり、内外穎は略同形で広披針形鋭頭無芒で1脈を具え、背面上方は縹波し、外稃は淡緑白色で前者より少しく長く、膜質で芒を有しない。内稃は甚しく小形。



ほもの科

ほもの科

やまぬかほ

Agrostis clavata Trinius
(= *A. perennans* auct.
jap. non Tuckerm.)

北海道、本州、四国、九州のやや高い山地に多い多年生草本で、よく叢生し、稈は高さ20-80cm許、葉はヌカホより細く、長さ7-15cm、幅1.5-4mm許、頂に円錐花序を疎開して生ずる。花序の側枝は輪生して長く、開出し、ヌカホに於ける様に平圧せず下半には小穂がない。小穂は長さ2mm、通常緑色で、内外の2穎は不同長、披針形で、芒はなく背面に竜骨があり、その上部には短剛毛があつて縹波する。外稃は長さ1.5mmで3脈があり、披針形で鈍端をなし、ヌカホの如く鋭頭をなさない。

かにつりのがりやす

Calamagrostis Fauriei Hack.

本州北中部の高山の向陽の草原岩場等に生ずる多年生草本で、匍枝はなく叢生して高さ20-40cm許に達し、稈の基部に膜質の鱗片葉がある。葉は狭線形、やや軟質で長さ30cm許、幅2-4mm、無毛で、大きく彎曲して先端は垂下する。7-8月頃稈頂から概形狭卵形の円錐花序を葉の上に出し、長さは5-10cm許に達する。小穂は紅紫色を帯び長さ5-7mm、1小花がある。小花の内外の2穎は略同形、披針形、長さ5-7mm許、先端は長く鋭尖し外稃は穎より甚だしく短かく、5脈があり、側脈は上端に突出して直立平行する長さ1-4mmの小芒となり、芒は外稃の背面先端より少し下方から生じ、太く、著しく膝曲 振転し、小穂の2-3倍の長さがある。小花の基毛は外稃の半分より短かく、花下より生ずる小軸突起は小穂の外に抽出して芒状となり、下方に毛がある。和名は草姿がカニツリグサに似る故である。

ひげのがりやす

Calamagrostis longisetata Hack.

本州北部及び中部及び近畿地方北部の高山地帯に生ずる多年生草本で、匍枝はなく叢生して高さ30-70cm許あり、葉は長さ15-30cm、幅2-5mm上面に時に毛があり、基部は無毛の葉鞘となる。夏に稈頂に長さ10-15cmの円錐花序を出し、帯紫色、披針形、鋭尖頭、長さ4-5mmで光沢のある小穂を多数稍々密に着ける。花序の枝は稍輪生状でざらつく。内外2穎は披針形、略々同形で、竜骨があり、上方に短剛毛があり、内に1小花がある。外稃は穎より少し短かく、5脈があり、背面の中央またはやや上部から、膝曲して外稃の2倍以上の長さの長芒を生ずる。小穂の基毛は外稃より少し短かい。和名は鬚野刈安の意である。



第 3843 図



第 3844 図

ほもの科

ほもの科

ほもの科